

音威子府クロスカントリーコースの使用にあたっての留意事項

2021(令和3)年11月12日

※競技場施設利用に当たっては、以下の留意事項をご理解いただくことが条件になります。

また、感染拡大防止の観点から遵守していただく必要がございます。

- ① コースを使用するすべての方は、音威子府クロスカントリーコースを今季初めて使用する前に事務局へ、使用する2週間前からの体調管理チェックシートの提出と、新型コロナウイルスワクチン接種証明書または72時間以内のPCR検査証明書を提出すること。
- ② コースを使用するすべての方は、使用期間中コースを使用しない日も含めて、毎日インターネット上から『体調管理チェックシート』に回答すること。（裏面QRコードをお読み取り、専用ページからご回答下さい。）記入が無い場合はコースの使用を禁止します。
- ③ 体温が37.5℃以上の場合は会場に入場できません。
また、37.5℃未満であっても体調不良や風邪の症状、咳、咽頭痛などがある場合は、来場をひかえてください。
（その他、参加を見合わせていただく事例）
 - ・同居家族や所属チーム内等、身近な知人に感染が疑われている方がいる場合
 - ・宿泊する施設で、コロナウイルスに感染された方が出た場合
- ④ 海外から帰国後のコースの使用・大会参加については、外務省の措置およびそれに伴うSAJ理事会の決定に従うこと。（内容は変わることもあるので各自確認すること。）
- ⑤ 体調不良により音威子府村立診療所に受診を希望される場合は、事前に事務局へ連絡をお願いいたします。連絡を受けましたら事務局より診療所へ受診依頼を行い、受診していただくこととなります。また、症状等によっては診療所では対応しかねる場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、連絡を無しに診療所へ行くことや、直接電話はかけないようお願いします。
- ⑥ 選手のアップ、レース、クールダウン以外は、チーム関係者及び競技役員を含め、マスクの着用を必須とします。
- ⑦ コースを利用する全ての選手は、事務局で貸し出すトレーニングビブを着用すること。トレーニングビブを着用していない場合は、直ちにコースから退場していただきます。
- ⑧ 各チームの監督・コーチ等へのコーチビブの貸し出しは、2名までとします。コーチビブを着用していない場合、直ちにコースから退場していただきます。
- ⑨ 大会期間中のコースへの入場については、大会参加チームのみとします。（監督、コーチ等については、コーチビブ着用者のみとします。）
- ⑩ 音威子府村クロスカントリー本部棟については、12月1日から12月26日までの期間、大会役員以外の立入りを禁止します。トイレについては、仮設トイレを設置しますので、そちらをご利用ください。
- ⑪ 例年開放している更衣室については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、今シーズンは開放いたしませんので、各自対応願います。
- ⑫ 消毒液による手指の消毒を徹底してください。
- ⑬ ソーシャルディスタンスの確保と3密の回避を常に心がけてください。

- ⑭ ごみは各自でお持ち帰りください。
- ⑮ 大会主催者・役員の指示に従ってください。
- ⑯ 大会終了後、2週間以内に感染が確認された場合は、速やかに大会事務局に報告してください。

※大会事務局は主催大会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。

※感染者が発生した場合は保健所・医療機関等の第三者へ個人情報を提供することがある。

※取得した個人情報は大会終了後1ヶ月間保管し、その後適切かつ速やかに破棄する。

※北海道の新型コロナウイルス感染症に対する警戒度や感染拡大の状況によって変更します。

※上記に記載の内容が明らかに守られていない場合には、所属するチームに対し途中退場や、競技参加の取り消し等の措置を執る場合があります。を申し添えます。



音威子府村ホームページ
クロスカントリーページ



音威子府スキー協会
公式LINEアカウント



音威子府村
体調管理チェックシート



自費PCR検査を提供する
機関一覧（厚生労働省HP）